



# 地元大学生が地域の守り神『砂防』に興味津々！ ～敬和学園大学への出前講座(その2)を開催～

12月10日、敬和学園大学(新潟県新発田市)の先生と学生10名による現地見学会を開催しました。

この見学会については、去る11月10日に敬和学園大学の『地域産業論』という講義において、当事務所の若手職員が羽越災害や、令和4年8月の出水も含めた近年の土砂災害状況を説明したところ、地域の守り神である『砂防』に関する探究心が深まり、生徒さんからの熱い要望により実施することになったものです。

小雨の降る中でしたが、参加者は真剣な眼差しで白井出張所長の説明に聞き入っていました。砂防堰堤を初めて見る方も多く、施設とその上流に堆積した土砂や流木を見てその効果を実感しているようでした。



白井所長による説明の様子



堆積した土砂を確認する学生